



Hagto, more

6月12日、福岡県大学田市に生まれる。 原任少女コミック連載の 「ボーの一茂/シリーズで 境発的人気を得て今日に至る。 1976年小字都曼面護受賞。 名作「11人いるリ「スター・レッド」のほか。 最新作に「複雑な命が支配する」などがある。

小学館文庫 はA-4 ¥562



訪問者



萩尾望都



7104071710141



ISBN4-09-191014-9

CO179 ¥562E

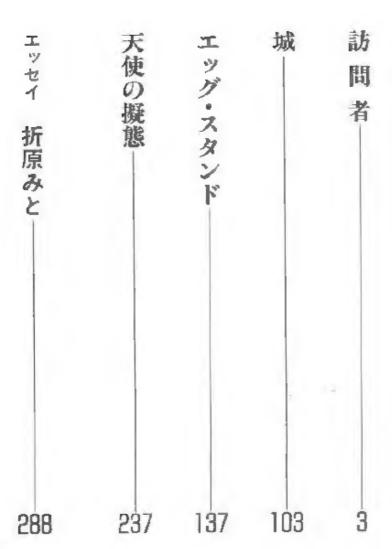
定価: 本体562円 +税

訪問者

オスカーの出生にまつわる秘密…… それが父母の愛を破局に導き、思いがけない悲劇を呼び寄せた。母を亡くしたオスカーと父グスタフのあてどもない旅が始まる。名作「トーマの心臓」番外篇の表題作ほか、戦時下のパリで世界の汚れを背負った少年の聖なる怪物性を描いた「エッグスタンド」、関ある天使への進化を夢想する「天使の擬態」など、問題作3篇を収録。

小学讯文 数属日起 作品 11人いる! 全1卷 スター・レッド 全1卷 トーマの心臓 全1巻 訪問者 全1卷 全1巻 11月のギムナジウム ゴールデンライラック 全1祭 华神 全1卷 とってもしあわせそりちゃん 全日卷 全1带 恐るべき子どもたち ウは宇宙船のウ 全14 ボーの一族 全3卷 Marginal v-5+c 全3卷 フラワー・フェスティバル 全1卷 越副知らずの男 全1卷 ローマへの道 全八卷 完全犯罪フェアー 全1巻 イグアナの娘 全1巻 海のアリア 全2卷 あぶない丘の家 全1卷

日







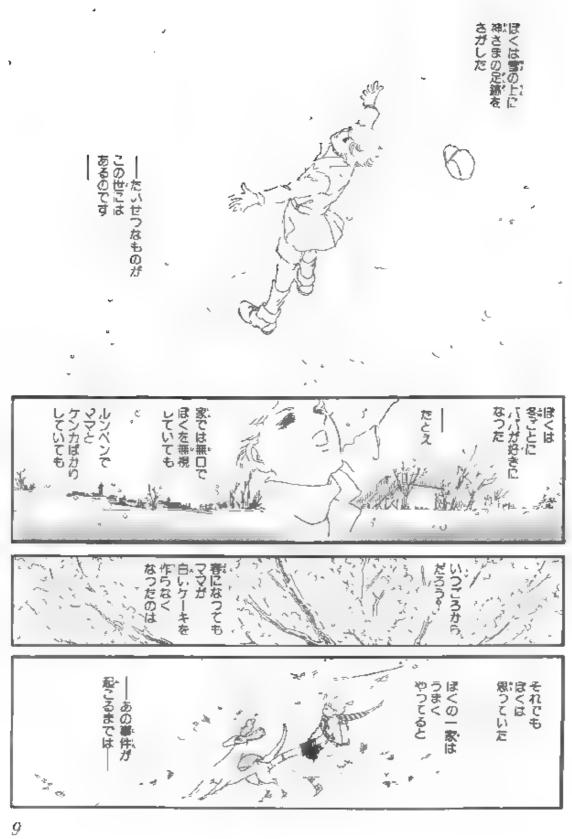










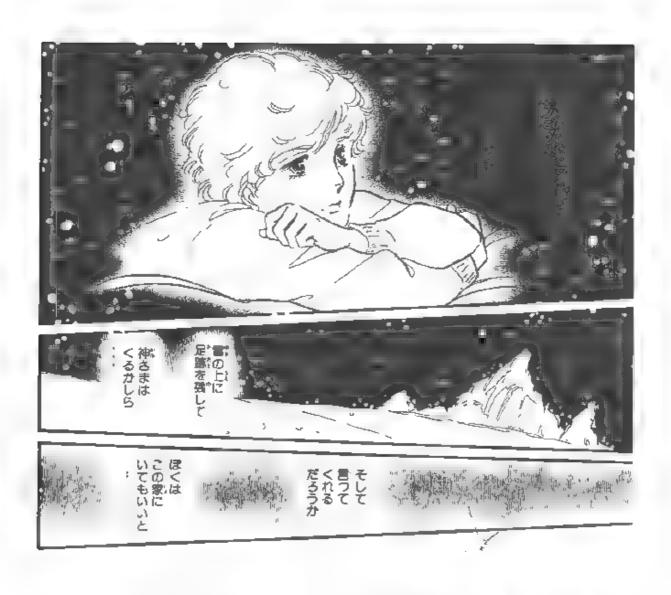


















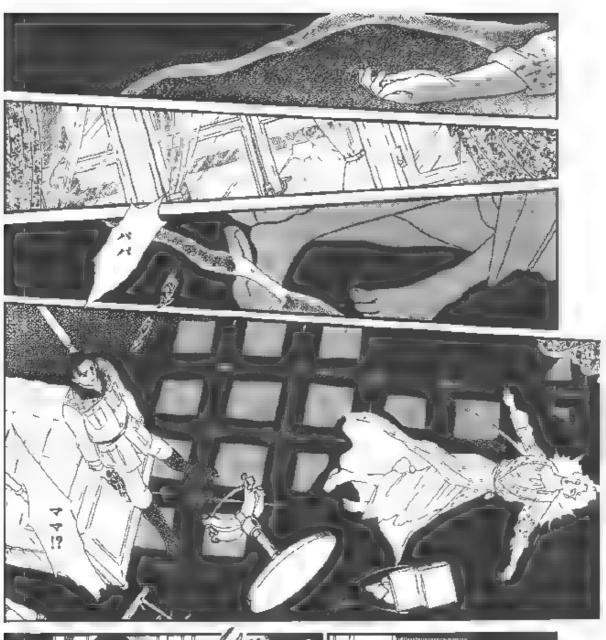




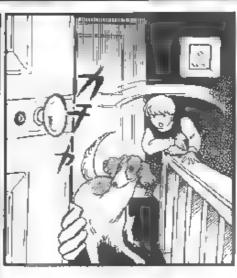








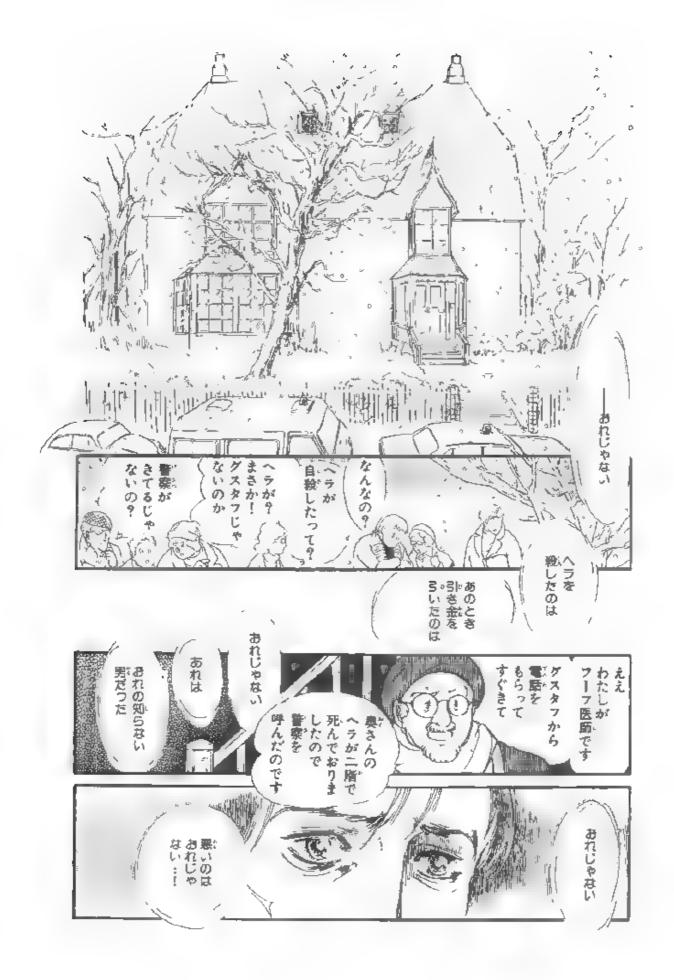






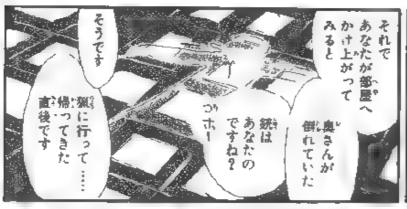
































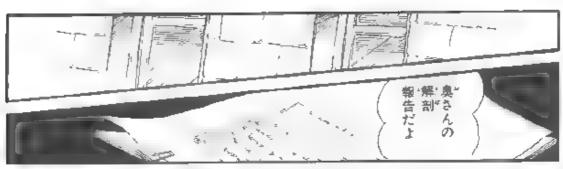






































































うち暮を

あんたは

のぞきこみ















































































































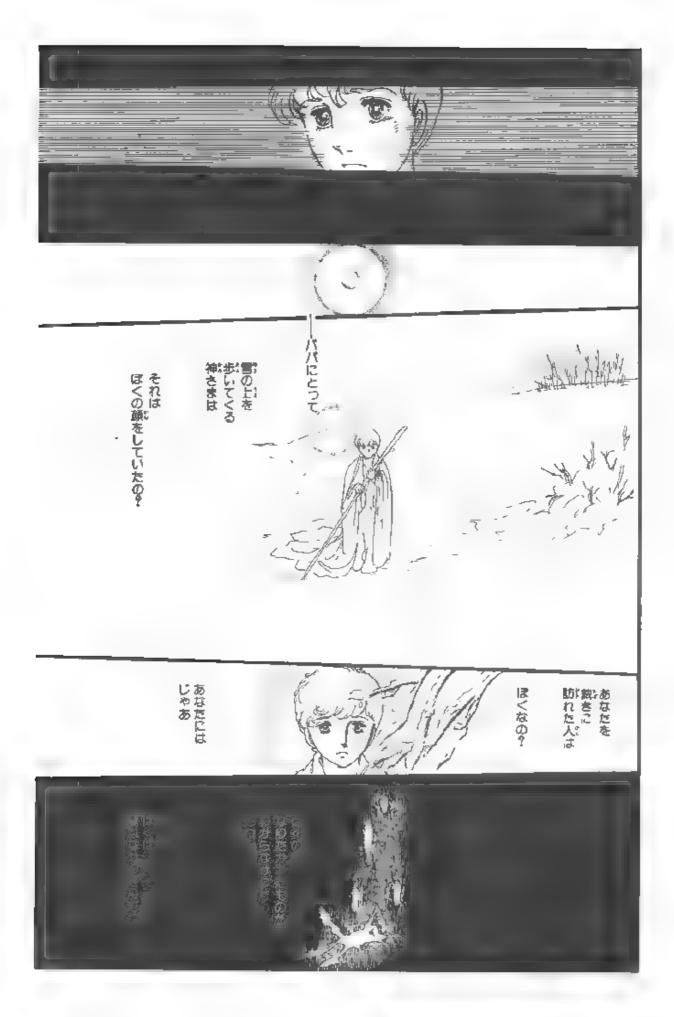






































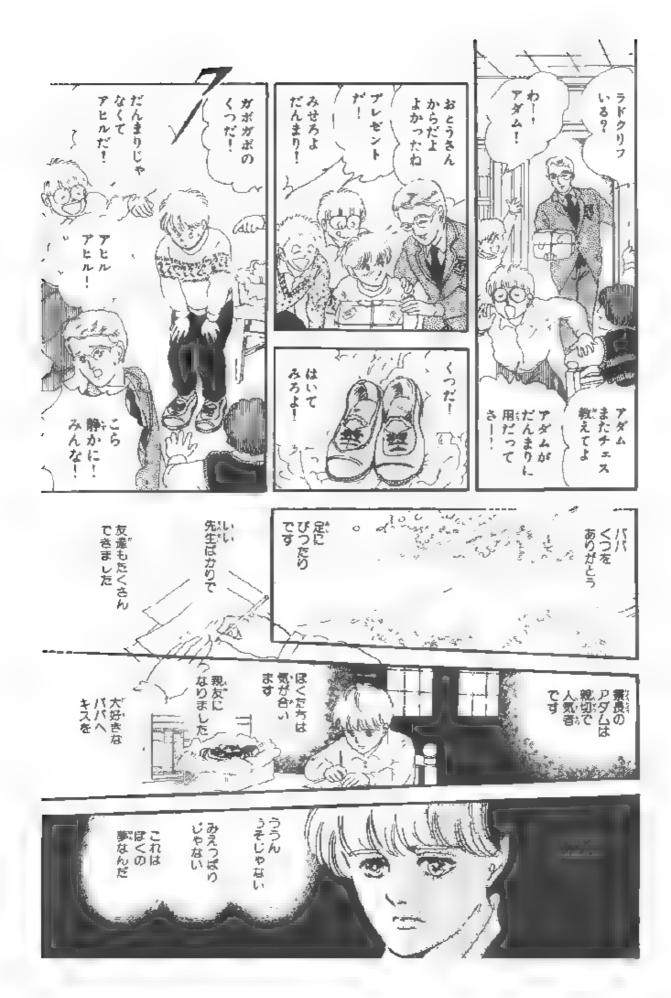
























うらがわは……



なばず あながな! る

































雨になった

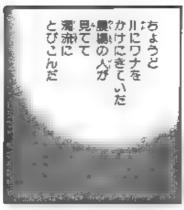


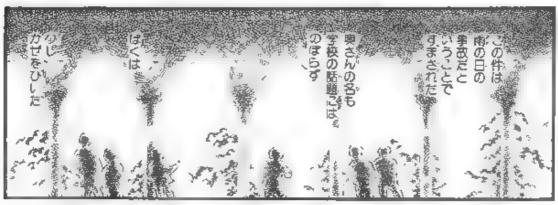














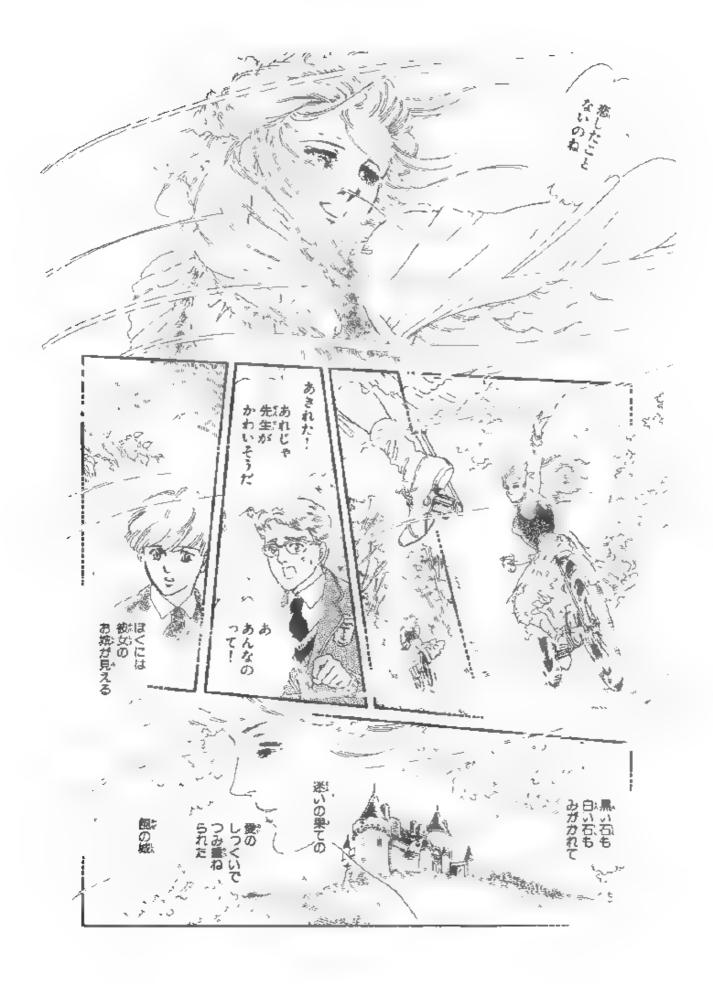












こつう ポギリシア たろわさが されるが ないなが











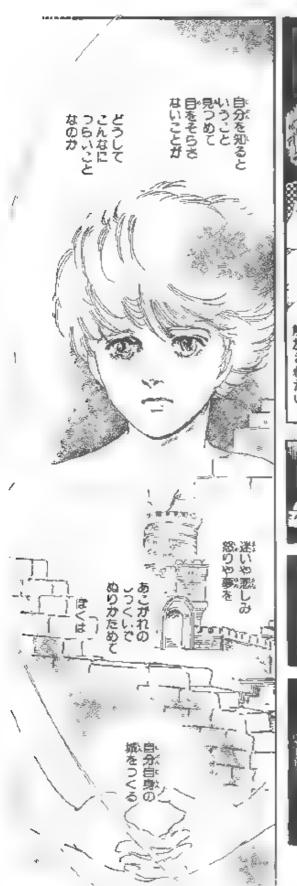








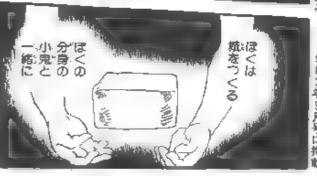






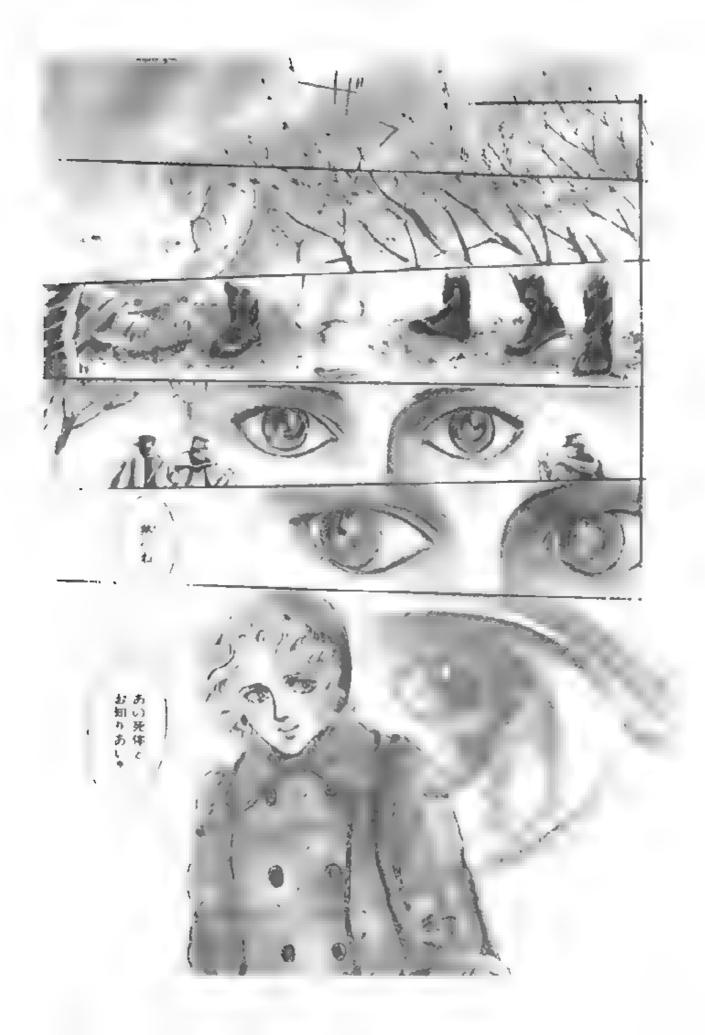






プチフラワー 1983年9月号に掲載













I4I







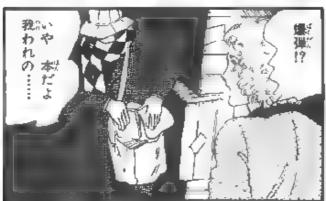












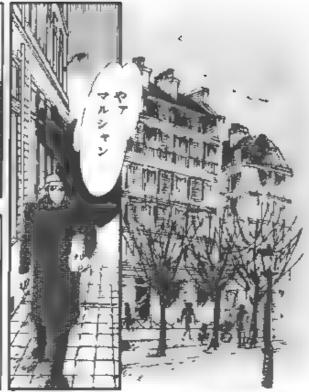




























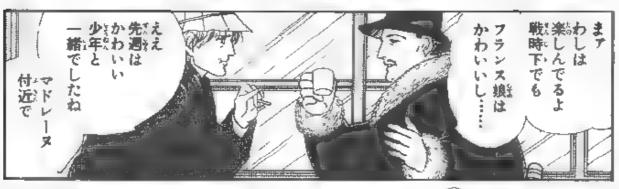












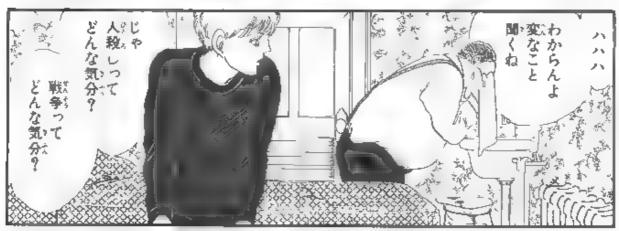


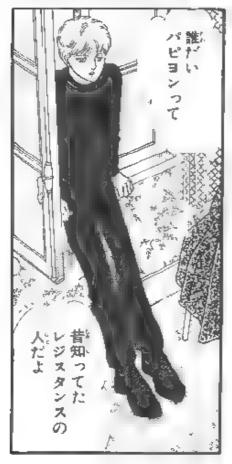






















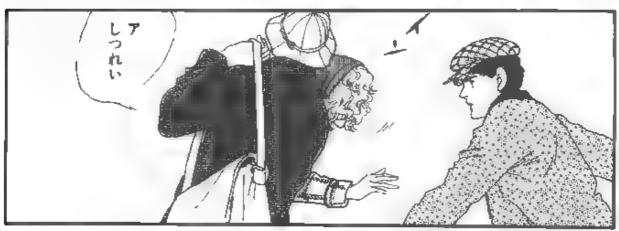








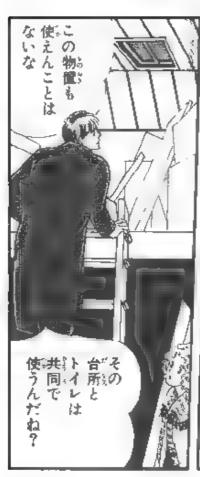








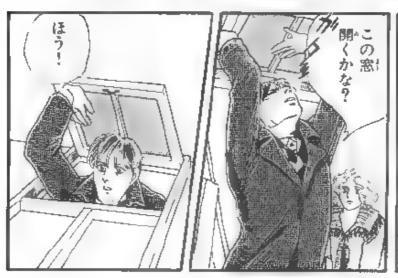


































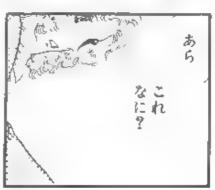
























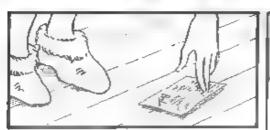






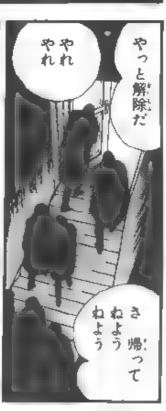




















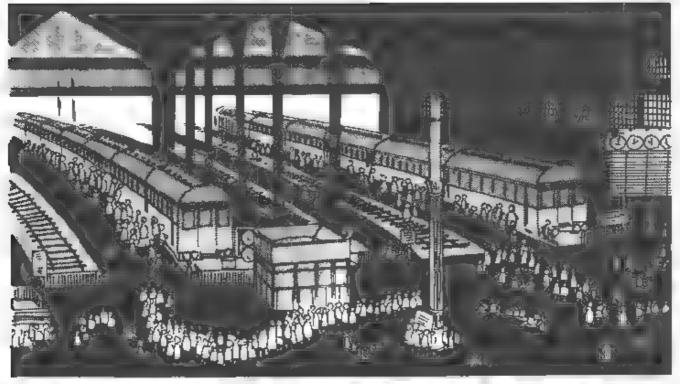






























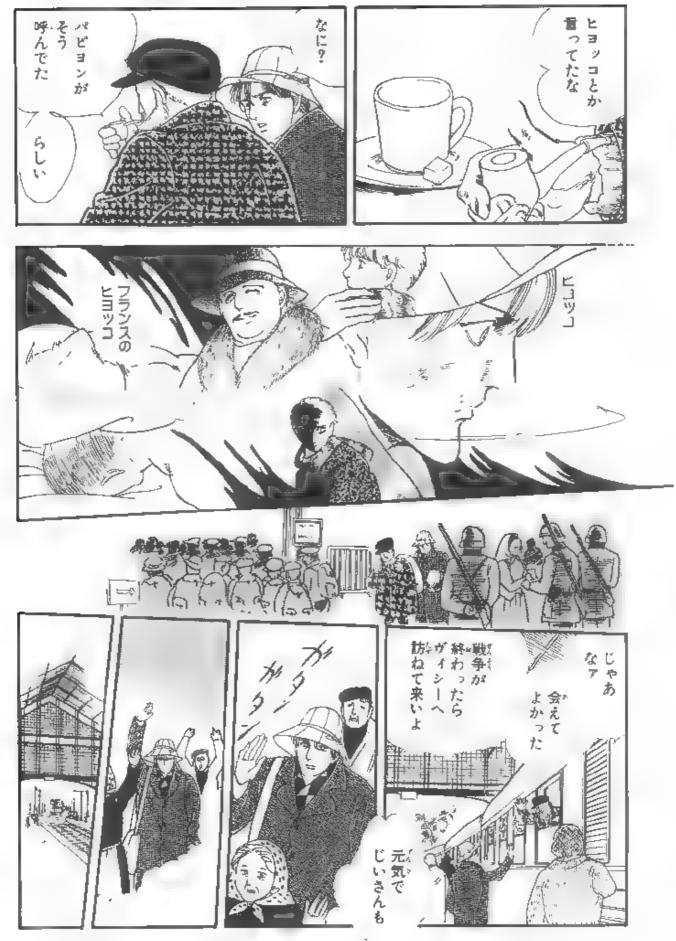


















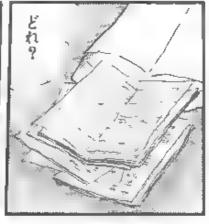
























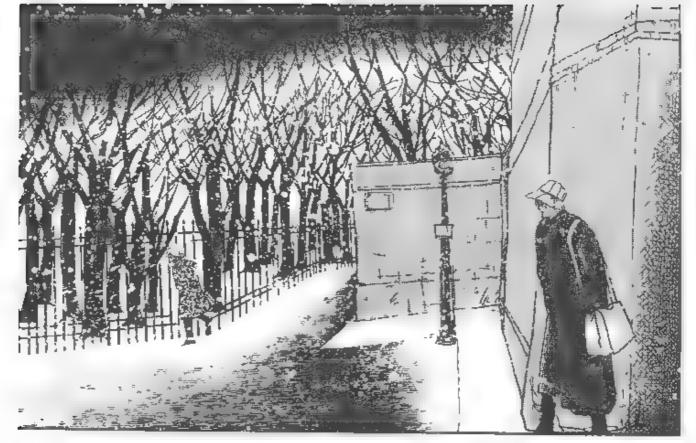


















































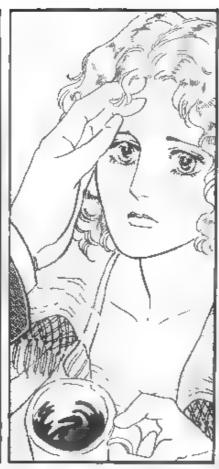


































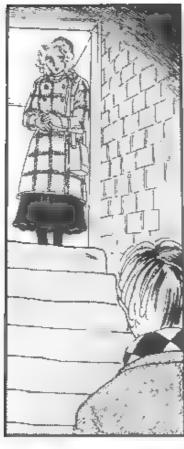






































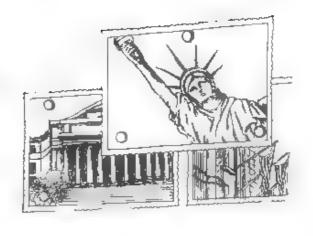
























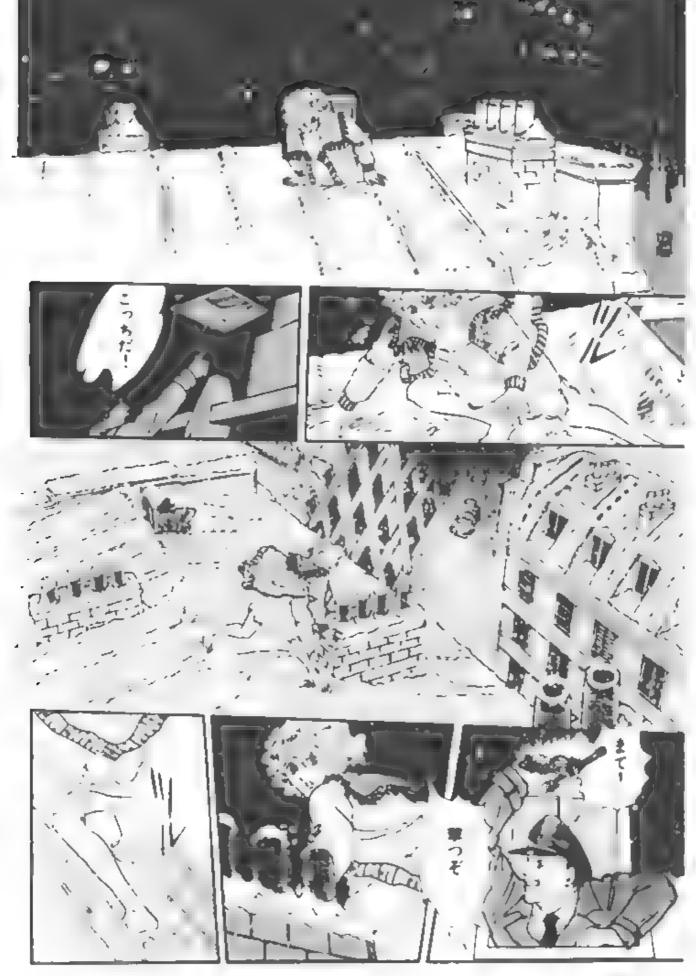












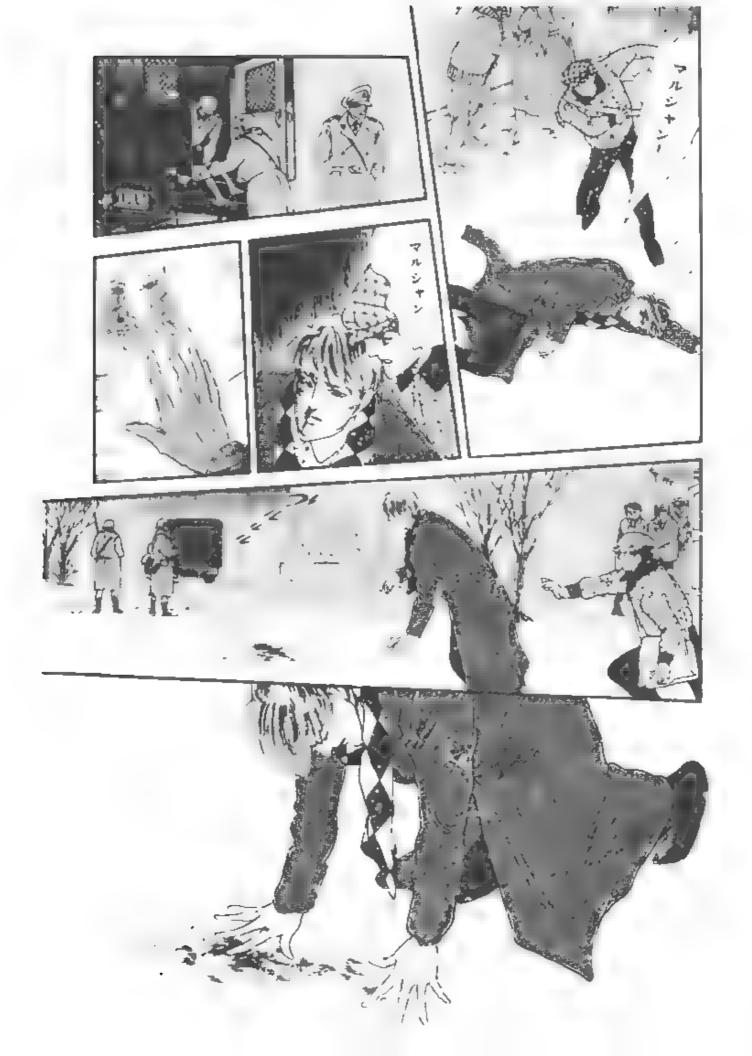


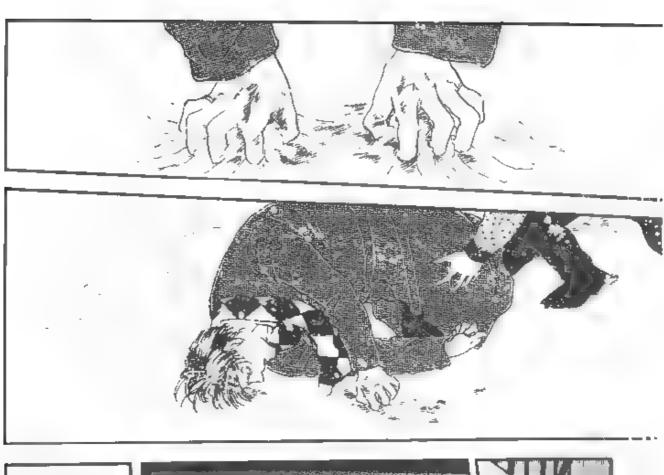
















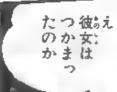






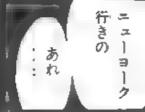






らあっぱった がに がに がに がに がに





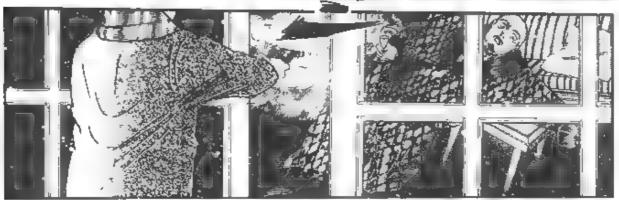




あげさくから よ

まて

















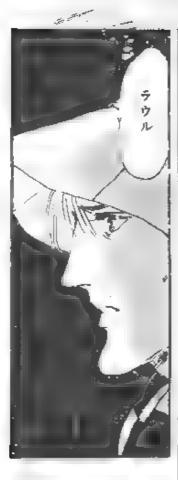














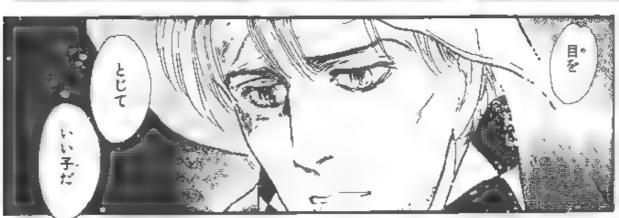


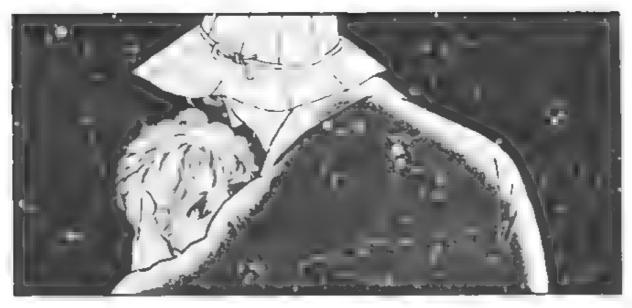


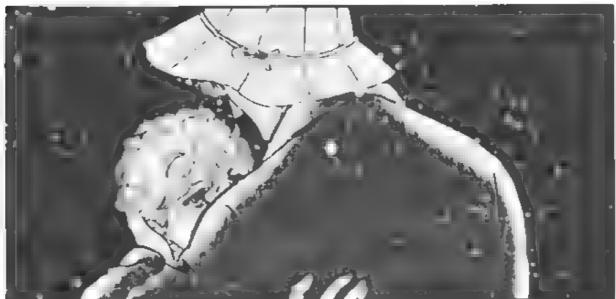


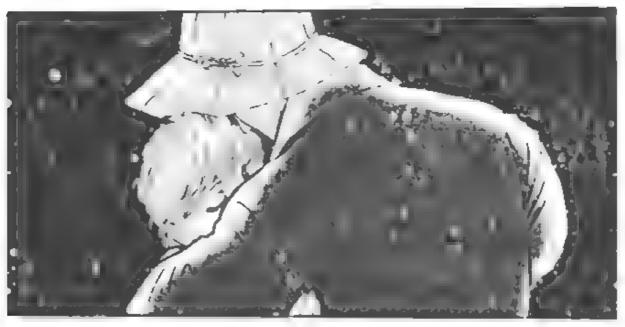


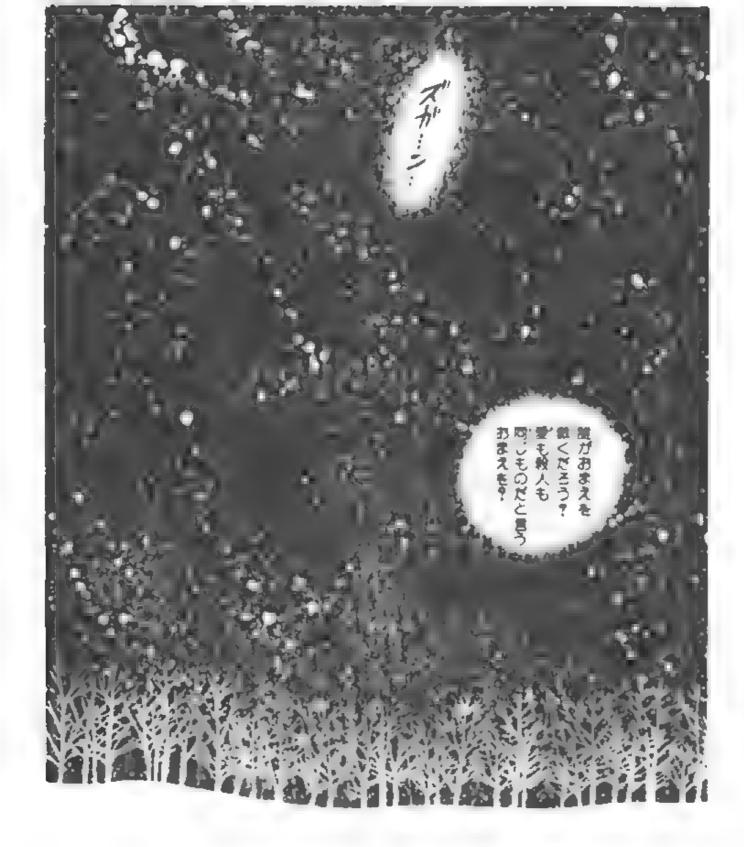














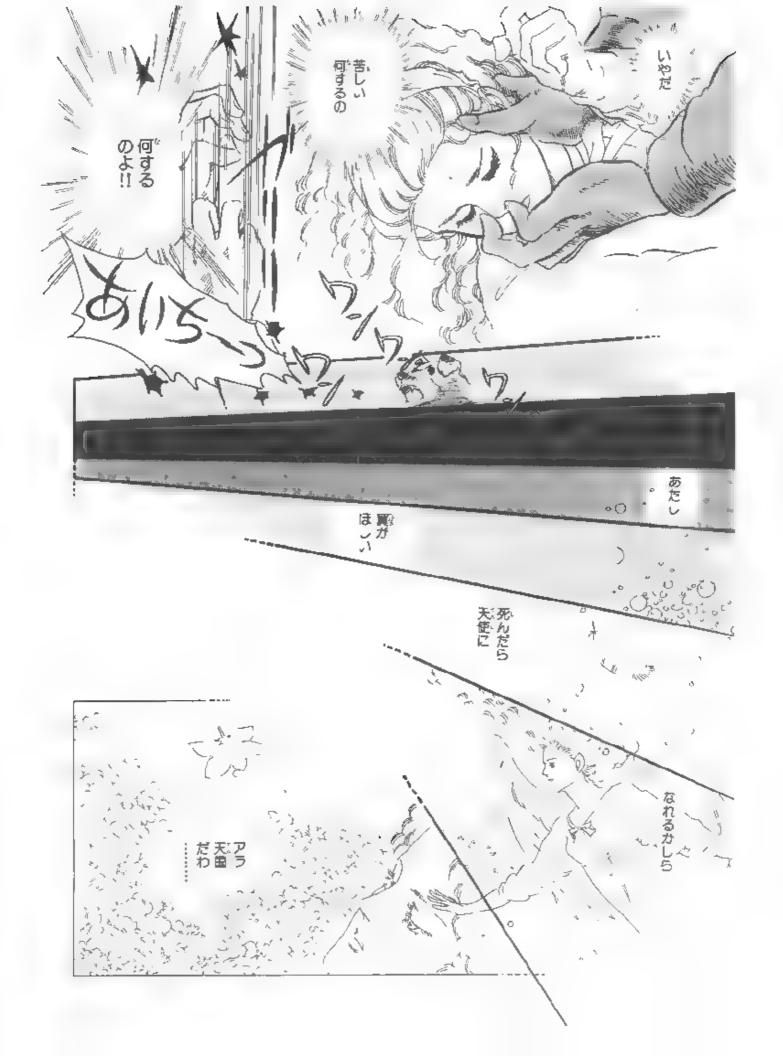


天使の擬態



















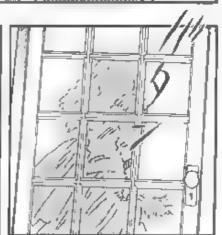






















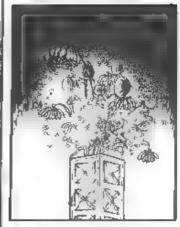
















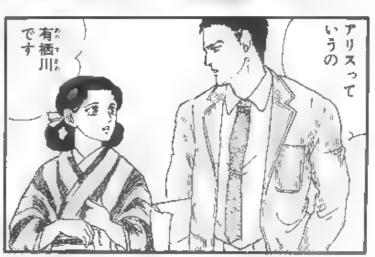














































ち次タ

Ţ

ん?

7









































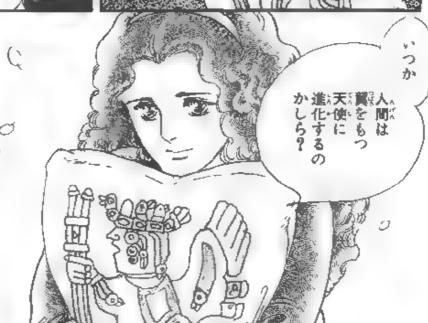
























































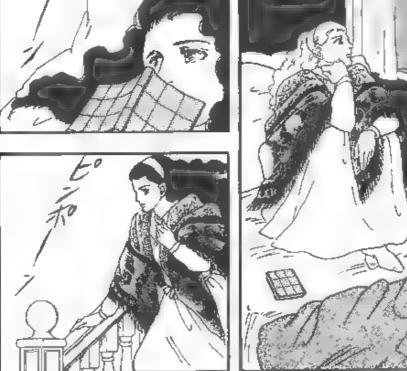








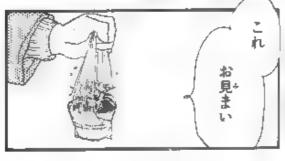










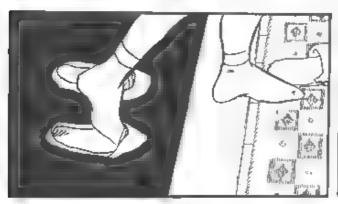






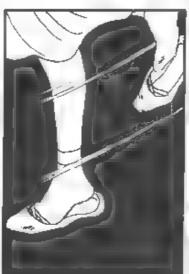












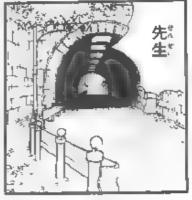






























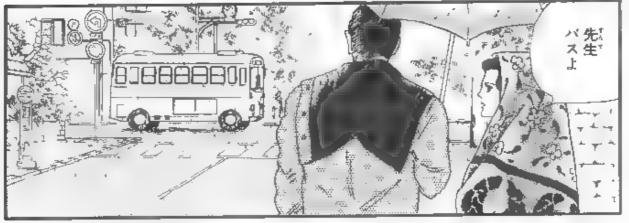






































エッセイ 私のルーツ、 萩尾まんが

折原みと

私のまんが家としてのルーツが、 萩尾望都だと言ったら、 萩尾ファンの失笑をかうだろ

萩尾望都の影響を受けていたとは誰も信じないだろう。 この超ブリブリフツーの女の子向け恋愛少女まんが家(自分でゆーかな?)の私が、実は この本を読 んでいる萩尾ファンが、折原 みとのまんがを読んだことがあれば の話だが、

とはいえ、 誰も信じてくれなくても、本人たけは信じている。

私のルーツは、断じて〝萩尾望都〟にあると!

私が萩尾まんがと出会ったのは、小学校5年生 の頃

第2次反抗期を迎え、ようやく白我に目覚めた頃だった。

それまでの私といえば、親の言うことをよく聞く素直でおとなしい よい · *。

とかって、 それが、 わかりもしないのに真剣に考えはじめたのもこの頃だ。 どういうわけか突然屈折したらしく、急に ″人生とは″ ″愛とは、 ″死とは、 ::

自然、読書傾向も変わった。

ら自殺した青年の手記なんてものばかり読むようになった(ちゃんと理解していたかどう かは疑問だが)。 それまでは児童 向 け の童話や世界の名作子供文庫を読 んでい たのが、いきなり哲学書や

ら、「少女コミック」系統に変わった。 んがも、それまでの「マーガレット」や「フレンド」、「りぼん」、 「なかよし」 路 線 か

誌に比べて少しマニアックたった。 今はどうだかわからないが、私が小学校5年生当時の「少女コミック」は、 他の少

はいっても並行して『キャンディ・キャンディ』も読んでたけど)。 た私は、そこでいきなり萩尾望都や竹宮恵子、 それまでまんがといえば『ベルばら』『エースをねらえ!』 大島弓子のまんがに夢中になったのだ 『はいからさんが通る』と来

ろうか。 私が小5から中1くらいまでの3年程だから、 一九七四年から七六年くらいまでの間だ

や初期の 当時の 萩尾望都の 「別冊少女コミック」は、まさに古きよき、黄金時代、だったような気がする。 『変奏曲』シリーズのような、まだ煩悩にはしりすぎていない ポー 族 が掲載されていたし、 竹宮患子が = 3/ ル ~ スタ (あっ、ごめんな ーの星か

さい)作品を発表していた。

弓子の読 み切りも好きだったし、名香智子の 『美女姫シリーズ』も好きだった。

吉田秋生もこの少し後のデビューだったろうか?

けれど、それからしばらくすると、なんだか 「別コミ」にも、フツー の恋愛まんが ~が増

えてきたような気がして、つまらなくなって買うのをやめてしまった。

「週コミ」を毎週買う程お金がなかったので、萩尾望都のまんがも読まなくなってしまっ

7

高校生に なって、「プチフラワー」あたりで再会した時には、 何だ か絵も話も、 以 前よ

り大人びてしまったように思えて、昔ほど夢中にはなれなかった。

小5の頃、やっと自我に目覚めた私は、「ラツーの子」であることがいやで、フソーよ

りマニアックなものに魅かれた。

けれど、しばらく "ブツーじゃない子"をやっているうちに、あえて "ブツーじゃ ない

子』になろうとすることが実はとっても つから見ても、フツー、なことのほうが、かえってカッコいいように思えてきた。 "フツー" だったということに気づき、今度はど

"フツー"になろうとした私は、マニアックなものを意識的に避け、 つの

まにか、 萩尾望都のまんがからも遠ざかっていた。

昔あれ程 ハマっていた ポポ 一の一族』や 「 ト 」 マの心臓』 を読 み返したのも、

が家としてデビューして数年たってからだ。

けれど、久しぶりに読み返してみて驚いた。

似ているのだ。

萩尾望都のまんがのセリフまわしと、私のまんがや小説の文体が…だ。

一応韻を踏んで、リズミカルにと心がけている私の文体は、まちがいなく、萩尾望都 と言うと、「どこがだ!?」と罵声が飛んできそうだけれど、自分にはハッ キリわ か

影響を強く受けているのだ。

思えば、 私が萩尾望都作品に心酔していた年頃は、ちょうど思春期で、 番心がや わら

かい時。

Ę その頃 私の人間性 1 1 ージ1ペー の一部や、 作家としての基礎の部分を形づくってくれたはずだ。 ジなめるようにスミズミまで読 んだ萩尾望都 のまんが 確か

どさ)。 疑わしそうな顔をするのがちょっと悲しい(そりゃ、似ても似つかないモンを描いてるけ かされると、必ず それに気がついて以来、 「萩尾望都先生 雑誌のインタビューなどで、「影響されたまんが家は?」 」と答えているのに、 みんな「へえー、 意外です h と聞 ځ

私の人生の中で、最も感性が鋭くて、 当時の萩尾作品を読むと、その頃の純粋さの、何分の一かでもよみがえってくるような それにしても今にして思えば、萩尾作品に夢中だった小5から中1くらい 物事を真剣に考えていた時期だったような気がする。 の3年 間

気がするので、今でも時々、真夜中にシミジミ読み返したりする。

トーマの心臓』を読んだのは、小学校の卒業式の日だった。 ちょっとひねくれていた私は、クラスメイト達が泣いてる時も、 ひとりだけシラっとし

せきを切ったように涙があふれた。

ていたのに、学校帰りに買った『トー

マの心臓』のコミックス3巻をまとめ読みした後、

との別れを実感したのだ。 ユーリが神学校 へ旅立って行くラストシーンに、 ようやく自分白身の "卒業"と、

『ポーの一族』のアランが死んだ時には、友人とバラの花を買って、学校の裏庭でお葬式

をした。

今思えば大笑いのはずかしいエピソードだが、その頃の私は大マジメだった。 萩尾望都 少女時代の真剣な自分を思い出させてくれる のま んが は、 私 の作家としてのルーツというだけでなく、 ″聖域 なのだ。 愛おしくもなつ か

ところで、今回の『訪問者』の主役でもあるオスカー少年だが、『トーマの心臓』

での

私も時々ー 成長した 大先輩 やつば 白い髪 15品の中に登場させてしまうが、そのモデルが実はオスカーだと言ったら---。 の諸先生方、文中、敬称略の失礼をお許し下さい。 ッ、誰にも信じてはもらえないだろうか? 版は、 萩尾作品の中で、 私の一番好きなキャラクターだったりする。 (白髪ではなく)で女顔でクールで包容力のあるおにーさんぽいワキ役キャラ

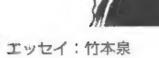
折原みと

か『たくさんの天使たち』『真夜中を駆け抜ける』などがある。 大活躍を続けている。代表作に、映画化もされた『時の輝き』の 年『夢みるように、愛したい』で少女小説に進出、以後、両分野 少女まんが家・ジュニア小説家。八五年にまんが家デビュー、八 一月二七日、茨城県石岡市に生まれる。みずがめ座、血液型はBi

青りんご迷宮

全1巻

年が過ぎていた。長編ラブロマンー2人が生死の一夜をともにした、あの夏の日から3えり子と武留が再会したのは彼女の高校入学の日。





エッセイ: ①三石琴乃②杜けあき③幾原邦彦④乃南アサ

の激しい恋を描くドラマチック・ロマンス。舞踏会には白いドレスを…。太平洋戦争前夜青樹湖都は美しい夢をもっていた。初めての

円舞曲は白いドレスで 全4巻

もう一人のマリオネット全4巻

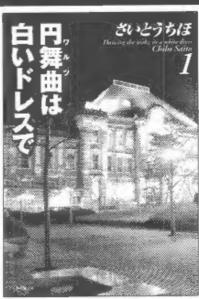
えていた。愛と戦慄のサイコ・ロマン!団させた演出家・神真之。だが、神は恐ろしい秘密を抱萩野七生の演劇的才能を見抜き、強引に自分の劇団に入



エッセイ:①加藤昌史②伊東恵里③清水ちなみ④加納幸和

ル 小学館文庫で読む!! さいとうちほ









訪問者

1995年9月1日初版第1刷発行(検印廃止) 2002年7月1日 第15刷発行

著 者 — 萩尾望都

©Moto Hagio 1995

発行者 ———— 辻本吉昭

印刷所 ————— 図書印刷株式会社

発行所 — 株式会社 小学館

101-8001 東京都千代田区一ツ橋 2-3-1 振替 (90180-1-200) TEL 販売 03-3230-5749 編集 03-3230-5456

編集人 ―― 毛利和夫 編集協力 ―― 小学館クリエイティブ

- ●造本には十分注意しておりますが、落丁・乱丁(本のページの抜け落ちや順序の間違い) の場合はお取り替えいたします。購入された書店名を明記して「制作局」あてにお送りください。送料小社負担にてお取り替えいたします。制作局 TEL 0120-336-082
- ●本書の一部または全部を無断で複製、転載、上演、放送などをすることは、法律で認められた場合を除き、著作者及び出版者の権利の侵害となります。あらかじめ小社あて許諾をお求めください。

配〈日本複写権センター委託出版物〉本書の全部または一部を無断で複写(コピー)することは著作権法上での例外を除き禁じられています。本書からの複写を希望される場合は、日本複写権センター(TEL 03-3401-2382)にご連絡ください。

ISBN 4-09-191014-9